



●安曇地区●	713世帯
男女	710人
合計	705人
合 計	1415人
R2.7.1現在	

今年度保育園に着任された両園長に あいさつをいただきました

乗鞍保育園



相澤先生

4月に乗鞍保育園の園長として赴任した、相澤優貴です。安曇村の時、合併後の3年間、乗鞍保育園で保育士として仕事をさせていただきました。

乗鞍は本当に良いところですよ。別の園に異動しても（いつか乗鞍に戻って保育をした）とずっと思っていました。異動の時期には、必ず1番に【乗鞍保育園】を書いていた程です。が、中々思いは通じず、あつという間に10年以上の月日が経っていました。が、ようやく念願が叶いこちらに勤

安曇保育園



百瀬先生

められるようになりました。保護者の皆さま、職員一同と共に、子どもたちの10年、20年後の姿を思い描きながら、乗鞍の良さを生かした保育を通して、子どもたちの『生きていく力の根っこ』を育み伸ばしていきたいと思っています。地域の皆さまにもお力添えをいただくことが多々あると思います。どうかよろしくお願いたします。

今年度、4月より安曇保育園の園長として就任しました。百瀬あさ美です。9年前に奈川保育園に3年

間在籍し、奈川ではわらびとり、乗鞍ではそりすべり、安曇では水殿ダム周辺の自然散策をして3園交流をした楽しい思い出が心に残っています。その時に安曇には「風穴」という「天然冷蔵庫」があり、年間通して温度が保たれそこに漬物等を保存できるところが数カ所あることを聞き見学もさせてもらいました。昔の人の発見と知恵で現在も使われていることはすごいことですね。そして、安曇はとても自然豊かで山に囲まれ、今は緑の山・青い空・蝉の声…等、自然のマイナスイオンを存分に浴びながら通勤し、さらに元氣いっぱい16名の子どものたちの元氣パワーももらって気持ちよく仕事が出来ています。園児が健康で安全に楽しく過ごせるように努力していきたいと思えます。



★あづみへようこそ★ よろしくお願いたします

野県松本警察署 安曇警察官



安曇警察官駐在所
金子隆起

この度、三月の定期異動で長野県松本警察署地域課安曇警察官駐在所勤務となりました。金子隆起と申します。

現在の安曇野市、旧東筑摩郡明科町の出身で、妻と二人で赴任して参りました。交番・駐在所勤務が長く、この十年程は飯田、下伊那、木曾地域で駐在所勤務をしていました。そのため、時折り南信地区の言葉が出てきますが、久しぶりの松本平の勤務で張り切っています。パトカーや徒歩でトコトコと巡回連絡、パトロールをしておりますので、仲良くしてください。

乗鞍高原おむせ祭り

5/20(水)

今年度は、関係者のみで行事が行われ、新型コロナウイルス感染及び群発地震を収める祝詞と、山の安全を祈願する祝詞が捧げられました。来年は、例年通り、一般のお客様にも参加していただき、賑やかに、すもも祭りが開催されることを願っています。

のりくら観光協会 協会長 福島真



安曇小中学校



安曇小中学校

元気な
安曇っ子

わらび採りに行って

僕たちのいる大野川中学校では、六月四日にわらび採りがありました。場所は、乗鞍高原スキー場で行いました。今回は、中学生、中学校の先生、だけではなく、地域の方にも手伝っていただき、十五人で採りました。目標を一人十kgとして全員で二五〇kg採ることにして頑張りました。今回は十五人を三グループに分けて行いました。今年とは違い、スキー場の中で一番急な所にたくさんわらびが生えていました。そのため、坂の方を向きながら採るとかがむ必要がなくなるので、今年初めて来た先生方とも楽しく採ることが出来たと思います。今年、昨年よりもクマの目撃情報が多く、スキー場でのわらび採りは危険だと言われていました。幸い遠くの山の上の方まで行ってもクマには出会わず、沢山のわらびを採ることができました。

雪の無いスキー場は冬とは全く景色が違い戸惑いました。が、無事学校に帰ることが出来



ました。全員で採ったわらびの量は目標には三十kg及ばず、二〇kgでした。

今年、コロナの影響があったためいつも買い取っていただいたいの「しづか」というお店に寄付をしました。中学生、先生、地域の方と一生懸命採ったので、おいしく食べていただけると嬉しいです。

(2年 山崎将太郎)



登校が再開してから、生徒会活動もいよいよ本格的にスタートしました。今回は安曇中学校生徒会長の鶴見冬馬さんが、本年度の生徒会スローガンについて紹介します。

こんにちは。今年度の安曇中学校生徒会長の鶴見冬馬です。

ここでは、今年の生徒会スローガン「改革」へ変えていこう。全生徒が関われる生徒会へについて紹介します。なぜ、このスローガンにしたかというと、これまでの生徒会を振り返った時に「全生徒が関わる」という点で物足りなさを感じたからです。しかし、全ての活動においてそうだったという

訳ではありません。昨年度の生徒会ではスムーズに進んでいきました。なので「改革」とは言いますが、良いところは残しつつ、昨年度の反省点は改善し、よりよい生徒会を創り上げます。

…と、まあここまで堅苦しい話になってしまいましたので、スローガン作成の裏話をしたいと思います。

スローガンは、言葉が決定した後、大きな紙に書いて学校に貼るまでが仕事であります。行書体のパソコン文字をカーボン紙で模造紙に写します。しかし、カーボン紙を下に敷かず、ただ文字をなぞるといふことをしてしまいました。しかも二回も。まあまあ天然の僕は、先生と爆笑する、ということがありました。

また、スローガンの大きな紙には、全校の皆の手形をつけて目立つようにしました。そこで僕たちは、3年生は赤色を基調とした絵の具を用意しました。赤色にした理由は、より目立つようにするためというのと、お化け屋敷のような怖さを出すためです。楽しい生徒会にするというのも「改革」に込める願いなので、適切かどうかはわかりませんが、結果として良



▶生徒集会で、鶴見生徒会長よりスローガンの発表。「全校で創り上げる」「全員の声に耳を傾ける」の通り、全員の「手」がモチーフになっています。

かったと思っています。ちなみに、今、スローガンは掲示されていますが、たまに端がずり落ちてきて、さらに怖さを増しています。

そして、楽しい生徒会にするために必要不可欠なものとして、安曇祭があります。今年度の安曇祭は、今までは違う企画を用意したりと、人数が少なくなってきたという部分を補うようなことを考えております。今年度の安曇祭テーマは「The Possibilities are endless (可能性は無限大)」。

無限の楽しさを無限の人々に提供する安曇祭。ぜひ楽しみにしてください。